

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	施設維持管理事務						継続					
コード	24	-	88	-	01	-	00	予算事業名	博物館等運営管理			
担当部署	教育総務部		博物館		管理担当		予算事業コード	会計 10	款 10	項 06	目 05	

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	無	法令による実施義務			義務ではない
基本目標(章)	2章	学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち			実施計画事業名	博物館等運営管理		
方向性(節)	1節	活力ある地域を創る生涯学習の推進			個別計画等の名称	なし		
施策	1	生涯学習環境の整備・充実			当事業に関連する事務事業	なし		
細施策	4	博物館の整備・充実						
事業実施の根拠となる法令・条例等	博物館法、川越市立博物館条例							

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	清潔で快適な生涯学習の場を広く市民に提供する。	
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	入館者が快適な環境の中で、展示見学等が出来るように、空調衛生設備のメンテナンス及び日常清掃等を実施している。	

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	49,961	50,018	57,818	49,841	53,612	
(25年度予算額大幅増/減の理由)	博物館特別収蔵庫内で、害虫が発生していることが確認されたため、特別収蔵庫内の燻蒸作業を実施。また、本丸御殿舞良戸の塗装修理を行う。					
事業費 A	45,493	47,059	55,896	48,035	53,612	81,228
人件費 B	23,136	22,011	22,011	22,011	22,011	22,011
総コスト(C=A+B)	68,629	69,070	77,907	70,046	75,623	103,239
正規職員(1年間の従事人数)	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人
臨時職員(1年間の従事人数)	1.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源 E	16,532	12,114	21,620	21,393	20,066	20,066
市の財政負担(=C-D-E)	52,097	56,956	56,287	48,653	55,557	83,173

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果 博物館入館者数	人	89,022	77,163	90,746	94,318	96,000	100,000
指標の定義・説明	1年間の入館者数						
成果 蔵造り資料館入館者数	人	93,814	70,100	72,211	74,968	77,000	81,000
指標の定義・説明	1年間の入館者数						
成果 本丸御殿入館者数	人	0	8,669	137,452	130,592	132,000	139,000
指標の定義・説明	1年間の入館者数						
成果 3館入館料収入	円	15,096,110	10,406,090	19,849,430	20,543,860	21,000,000	22,000,000
指標の定義・説明	3館の入館料収入						
指標に基づく評価	市制施行90周年と言うこともあり、例年実施している展覧会より2本多く実施したこと。また、本丸御殿のリニューアルオープンしたことなどから、多くの入館者を迎えるなど増加傾向となってきた。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	施設の老朽化に伴い、常設展示内の映像機器の更新や快適な学習環境を維持していく必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)		
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	学校教育との連携により子ども達に歴史文化等の学習機会を提供したり、観光事業としても、博物館の役割は大きく貢献している。事業の廃止・縮小をすることは、次世代を担う子ども達への歴史文化を継承機会が失われるなど、市民サービスに大きく影響を与えることが想定される。	

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		教育総務部				博物館	管理担当
事務事業名称		24	88	01	00	施設維持管理事務	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					